

現代と福音

—改革教会の実践から考える—

2017年9月15日(金)

18:00~19:45

東北学院大学 土樋キャンパス

ホーイ記念館ホール

入場無料・どなたでも受講できます 直接会場にお越しください



1517年にM. ルターが「九十五カ条の提題」を提示して始まった宗教改革から、今年で500年を数えます。これを機に宗教改革とは何であったのかが新たに問われています。宗教改革の最前線となった教会は、当時の西欧社会でどのような位置づけにあったのでしょうか。教会が宗教改革において取り戻した「福音」を視野に、500年前とは異なる現代の時代的・社会的文脈の中で、変わらない「教会の活力」を問います。福音主義キリスト教（プロテスタント）は日本の現代社会では「マイノリティ（少数派）」かもしれませんが、現代の教会に受け継がれる公的意義を本学のキリスト教的ルーツである「改革教会」の実践的な観点から捉え直していきます。

講師

米国プリンストン神学研究所 所長
ウィリアム・ストロー



プロフィール：エディンバラ大学神学部卒業。

スコットランド教会(Church of Scotland)の牧師として教会の牧会に従事しつつ、アバディーン大学、グラスゴー大学で非常勤講師を歴任（1984-88年）。1992年から2000年にかけて、民主政治に関するスコットランド市民フォーラム「Common Cause」を主催し、市民生活と政治に密着したキリスト教活動を精力的に展開。2000年にエディンバラ大学神学部教授（実践神学）に就任、「キリスト教倫理」や「実践神学」等の講義を担当。2005年6月より米国プリンストン神学研究所へ異動し、公共神学のグローバルなネットワークを主導している。著書・共著書多数。

主催：東北学院大学研究ブランディング事業「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

共催：日本キリスト教団全国改革長老教会協議会

問合せ先：東北学院大学研究ブランディング事業推進室 TEL/FAX: 022-264-6547

E-Mail: branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp URL: http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology

東北学院大学土樋キャンパス案内図



※公共交通機関をご利用願います。